

性的マイノリティってなんだろう？

性的マイノリティが抱える問題

性的マイノリティとは？

「異性愛者」や「シスジェンダー(※)」等に対し、性に関する少数派の人々のことを言います。日本では、少なくとも20人に1人が性的マイノリティだと言われています。

※シスジェンダー：身体的性別と性自認が一致している人

- ・同性愛者 ・バイセクシュアル
- ・トランスジェンダー ・性同一性障害
- ・エイセクシュアル(性欲を持たない人)etc…

性的マイノリティの中には、「男なのに/女なのに」と自分のあり方を否定されたり、異性愛を前提とした恋愛話に疎外感を感じたりと、まわりの無理解により悩みを抱える人も少なくありません。また、家族や親族が精神的な圧迫を与えてしまうことも多くあります。

学校、就職、医療、あらゆる場面で性別が確認され、マイノリティであると困難を抱えることも



同性カップルでは、結婚制度に基づくさまざまな権利が与えられない(扶養家族としての扱い、共同で築いた財産の保護等)

異性愛・シスジェンダーは「普通」なのではなく、性に関する一つのあり方です

知ってほしいこと

もしかしたら、あなたの親しい人にも性的マイノリティがいて、家族や友人、教師などの何気ない言葉や態度で傷ついているかもしれません。「みんな、それぞれでいろいろ。それでいい。」で終わるのではなく、だれもが「それでいい」生き方ができるために、性的マイノリティに対する理解を深め、差別や偏見をなくしていくことが重要です。

アメリカのマサチューセッツ州では2003年に全米初の同性婚合法化がされた後、同性愛者の男性の病院へ行く回数が減少したという調査結果が出ました。そしてこの結果は、パートナーの有無に関係なかったのです。これは、実際に結婚するパートナーがいなくても、社会的に認められることでメンタルヘルスにより影響を及ぼしたことを示唆しています。

参考：第1回ふくふく講座配布資料「性的マイノリティって何だろう？」講師：砂川秀樹



ピンクドット沖縄

ピンクドット沖縄は、「性的マイノリティが生きやすい社会を」と願う人たちが、その思いをあらわすためにピンク色のものを身につけて集まるイベントです。ピンクドットは、2009年にシンガポールに始まり、現在では米国等の都市でも開催されています。日本では2013年に沖縄で初開催され、第2回目が今年の7月21日、那覇市牧志のテンプス館前広場で開かれました。約千人が参加し、同性のパートナーとカナダで結婚した県出身者の「里帰り結婚式」をメインに多彩なイベントが行われました。



問合せ：市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線421 「お互いに 未来を掴もう 共同参画」

学び、ふれあい、感じる実践の場



めがき★ふくふく情報

☆第5回ふくふく講座

今、大きな地震や津波が起こったら、あなたはどうしますか？

また、日頃の備えはできていますか？
地震や津波が少ない沖縄では、そういった事に対する防災意識が薄れがちです。
今回は、防災の基礎知識を学び、一人ひとりの防災に関する意識を高めるとともに、男女共同参画の視点でも考えてみましょう。

テーマ

どうする？ 沖縄で、地震津波が起こったら
〜つねいつ時の備え〜

講師：稲垣 暁さん(防災士) 沖縄大学非常勤講師
日時：10月8日(水) 午後7時〜9時
場所：男女共同参画支援センター「ふくふく」
対象：関心のある方(市外の方も参加可能です)
受講料：無料

☆受講ご希望の方は事前にお申込みください。
(一時保育を)ご希望の方は予約が必要です。
一週間前までにご連絡ください。

☆DVD学習会「暴力NO!対話YES!」
開催のお知らせ(10月〜12月)

開催場所・期間

男女共同参画支援センター「ふくふく」
10月〜12月 毎週水曜日 午後2時〜4時

視聴DVD 青少年暴力予防教育プログラム
「暴力NO!対話YES!」、「デートDV」
「相手を尊重する関係をつくる」等
(内容詳細は電話で問い合わせください)

申し込み・問い合わせ先

男女共同参画支援センター「ふくふく」

宜野湾市志真志1丁目15番22-2号

電話 896 11616

FAX 896 11219

皆様のご参加をお待ちしています。

